

井頭公園 花ちょう遊館・企画展 ～北海道に咲く花展～

【開催期間】 2021年4月21日(水)～2021年5月10日(月)

今回の企画展では、日本最北の花の島「礼文島」や高山植物の宝庫「大雪山」など、北海道に自生する高山植物を中心に、海辺や山麓に咲く山野草、北の街でガーデニングに利用される青いケシの仲間やコリダリス等の園芸植物も展示します。開催期間中は、北海道の植物園、高山や山野の自生地に足を踏み入れなければ見ることが困難な珍しい花々など、開花に合わせて入れ替えながら100種類以上展示する予定です。

●開催期間中に開花する主な展示植物

◇エゾウスユキソウ（レブンウスユキソウ）

キク科ウスユキソウ属

分布 北海道（礼文島、ニペソツ山、藻琴山、釧路昆布森）

特徴 乾いた岩礫地や草地に生える。ヨーロッパではエーデルワイスと呼ばれるものの仲間。葉は先が尖った倒披針形で、茎の下部に10個ほどつく。星形に開いた白い花卉のように見えるのは苞葉で、中心部に頭花が5～20個ほどつく。ひとつひとつの頭花は筒状花が集まったもので、中心部に雄花、縁に雌花がある。



◇レブンコザクラ

サクラソウ科サクラソウ属

分布 北海道（礼文島、北見山地、知床半島など）

特徴 草原などに生える。ユキワリソウの変種の一つ。一つの花茎に10個前後の花がつく。



◇ヒダカハナシノブ

ハナシノブ科ハナシノブ属

分布 北海道（日高地方南部）

特徴 山地の林内、溪流沿いなどに生える。茎の上部に青紫色の花がやや集まって横向きに咲く。



◇クロユリ（エゾクロユリ）

ユリ科バイモ属

分布 北海道、本州（中部地方以北）

特徴 低地～亜高山帯のやや湿った草原に生える。
エゾクロユリは北海道、千島、サハリン、カムチャツカ、ウスリー、北米北西部の低地に生える。染色体は3倍体。



◇ミヤマオダマキ

キンボウゲ科オダマキ属

分布 北海道、本州（中部地方以北）

特徴 高山の草原や岩場に生える。礼文島や道北では海岩の岩場にも生える。葉は根際から出る複葉で、小葉は扇形で切れ込みがある。外側の花弁に見えるのは萼片で5枚ある。その内側に5枚の花弁がある。花弁の先は白色で、基部は距になって内側に曲がる。



◇ハクサンチドリ

ラン科ハクサンチドリ属

分布 北海道、本州（中部地方以北）

特徴 亜高山帯～高山帯の草地に生える。北海道では海岸近くにも生える。披針形の葉が数枚つき、基部は茎を抱く。花は穂状に密につく。唇弁は3つに裂け、中央の裂片や側弁の先が尖る。また唇弁には赤紫色の斑点がある。



◇キクバクワガタ

ゴマノハグサ科クワガタソウ属

分布 北海道

特徴 亜高山帯～高山帯の岩礫地や海岸の砂礫地に生える。葉や花に変異が非常に多い。葉は卵形で羽状に切れ込む。花は茎の先に穂状に多数つく。花冠は花弁状に4つに裂け、1本の雌しべと2本の雄しべが長く突き出る。



花ちょう遊館インフォメーション

- 入館料 大人：440円 高校生・中学生・小学生：220円
※20名以上の団体は2割引。幼児無料。障害者の方（要手帳提示）及び介助者1名は無料
- 開館時間 午前9時～午後4時30分
- 休館日 毎週火曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始